

両石地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 議事要旨

記

- 日時 平成 25 年 7 月 28 日（日）10 時 30 分～12 時 30 分
- 場所 釜石中学校体育館
- 次第
 1. 釜石市長 野田武則あいさつ
 2. 浜のすまいを考える会のふりかえり
 - ・ 前回のワークショップの振り返り
(宅地の配置／避難道／公共施設の配置計画について)
 3. 最新の土地利用計画について
 - ・ 「浜のすまいを考える会」の意見とその対応（考え方）について説明
 - 宅 地：再度行うアンケート結果によって、住宅地等の配置、宅地面積を決定
 - 屯所・集会所：位置や規模は、住宅の配置等を勘案しながら検討し、内部協議を行い決定
 - 避 難 路：今後現地を確認し、ルートや整備方法の検討を行った後に、整備可能な避難路を設置予定
 - 用 地 買 収：市が造成地や道路等として検討している場所にある土地(土地全体を買収する土地と、一部を買収する土地に分かれる)が対象
また、災害危険区域内で、震災時に居住していた家屋があった土地(土地全体を買収)も対象
 - ・ 今後のスケジュールについて
 4. 災害危険区域の設定について
 - ・ 対象区域の設定方法（津波浸水シミュレーションにより浸水が想定された区域）と規制の対象についての説明
 - ・ 災害危険区域の範囲について（両石地区は第一種区域に指定）
 5. 住宅再建支援制度について
 - ・ 現在の自力再建支援制度について
 - ・ 国から追加で分配された基金を活用した、新たな支援制度（釜石市単独被災者住宅再建支援事業補助金、釜石産木材活用住宅推進事業）について
 6. 私的整理ガイドラインについて
 - ・ 私的整理ガイドラインに適用される借入金の種類と減額・免除のルール、利用するメリットについて説明

7. 意見交換について

災害危険区域は、今後、変更あるか？

→ 造成などで安全な土地の利用形態が変わった場合には、変更します。

土地の買い上げについては課税か非課税か？また、土地を市外に既に求めた場合の支援制度について教えて欲しい。

→ 2000万円までは非課税です。

他市へ土地を求めた場合には、釜石市からの支援制度は今のところありません。

土地利用計画などについて住民が理解するまでには時間がかかる。本日、意見がなかったから了解されたものと認識することは避けて欲しい。

→ 全体の意見交換の場では意見を出しづらい方もいらっしゃると思います。市としては、個別に市役所に来て相談していただいても、数人の場で説明を求めたいということであれば、市の担当者に説明に来て欲しいと連絡をいただければ、その都度、対応したいと考えています。

両石の防潮堤の着工は遅れていないか？高さの設定については住民の声が反映されたものになっているか？

→ 基本的には、湾ごとに設定された防潮堤の高さがあります。

湾で定められている高さを基本とし、地区毎の特性に合わせて検討して良いことになっています。現在、平成27年度までに完成できる防潮堤の構造形式等を検討中です。

新しい国道の線形が提示されているが、高さはどのくらいか？

→ 国道の高さについては、国土交通省で検討中です。現在、国交省の情報をもとに把握できている高さについては、鉄道との関係で交差点の高さは18.5mと固定されるポイントとなり、供養碑の箇所10mから交差点を経て約20mに上がり、続いて15mに下がる計画となっています。

道路工事や造成工事スケジュールが遅れているのかどうか？遅れている理由があれば知りたい。また、住民は何を協力すれば早く進むのか？国道が先か、住宅が先かなど順番はどうか？

→ 遅れている原因としては、国道、防潮堤等の協議先が多く計画が最終決定しないことがあり、復興レポートで示しているスケジュールとは違っています。

現在、住宅地の造成は、平成27年度中に終えたいと考えていますが、事業工程の管理上、一番ネックなのは用地買収に時間がかかることを懸念しています。この点で地域のみなさまにはご協力をお願いしていきたいと考えています。

また、本日の時点では、工事展開については、まだ国道の詳細設計や造成の詳細設計が定まっていないためお示しできません。

これまでに意見交換を重ねてきた中で、8割くらいの要望は受け入れられたものと思っている。今後、地権者と具体的に詰めなければならないことがまだあると思うが市ではどう考えているか？

- 両石地区は、住民との合意形成が課題の地区です。1地権者の協力が得られず、計画変更することになれば再度計画を見直すなど非常に時間が掛かります。そのためにもまず、地権者のみなさまに計画や事業へのご理解を頂く必要があります。鶴住居地区では、地域の自主的な運営の会が組織化されました。両石地区にもそのような会があると合意形成が円滑になるため、組織を立ち上げて欲しいと考えています。役員構成等が決まれば、地域のみなさまへご案内することも可能かと思えます。
- まちづくり協議会についても同様です。

地権者だけの話で、将来のまちを語るには問題があると思うので、それについても配慮して頂けるのであれば組織化することは良いことだと思う。

- まちづくり協議会（地権者・住民・事業者）との住み分けを上手く図りながら進めることが重要だと考えます。

防災の件で消防団の意見としては、木造の家が多数であり、防火水槽や消火栓を計画的に配置して欲しい。

- 全体の土地利用について地域のみなさまの合意を得られれば、バス停やその他の個別の施設等についても意見交換を進めていくことができるものと考えています。消防団の方に負担をかけない良い計画を皆さまと一緒に練り上げて行きたいと思えます。